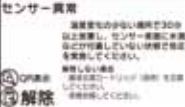
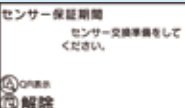
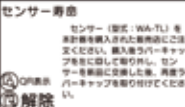


7. エラーメッセージの表示内容と処置方法

電源ON時や校正時にエラーメッセージが表示された場合は、下記を参照して処置をしてください。
(下記以外のエラーメッセージは、製品付属の取扱説明書「エラーメッセージ」の頁をご参照ください。)

症 状	確 認	処 置
センサー異常 以下の場合に表示します。 ・スパン/ゼロ校正時、センサーの出力が不安定 ・周囲の温度変化が激しい ・酸素センサーの隔膜が破損している ・酸素センサーの電解液が少ない   	プローブが水中に入っていないか。	プローブを大気中に出しスパン校正してください。
	プローブの水温センサーに手が触れていませんか。	水温センサーにさわらないようにしてスパン校正してください。
	測定環境温度の変化が激しい環境で校正していませんか。	空調などの影響を受けない温度変化の少ない室内でスパン校正してください。
	酸素センサー先端に水滴がついていませんか。	先端の隔膜を傷つけないよう注意して、水滴を拭き取り、スパン校正してください。
	酸素センサーとプローブの間に水が入っていませんか。	プローブから酸素センサーを取り外して、水分を除去してください。
センサー保証期間 酸素センサーの保証期間の残り日数を知らせる表示です。 (残り30日になると表示されます)   	それでも解消しない場合は、酸素センサー隔膜の破損が考えられます。	膜液交換カートリッジ(別売)、もしくは酸素センサーを交換してください。
	「保証期間お知らせ機能」による表示です。残り日数を確認してください。(保証期限は出荷日より1年となります。)	保証期限を過ぎると「センサー保証期限切れ」の表示が出ようになります。早めのセンサー交換準備をおすすめします。
センサー寿命 酸素センサーが寿命になったときに表示します。   	酸素センサーの寿命です。	しばらくは測定可能ですが、酸素センサーの出力が低下しているため校正はできません。さらに劣化が進むと「センサー使用不可」となり測定もできなくなりますので、新品の酸素センサーを準備、交換してください。

- エラーが表示された際、 (手順表示) を押すと処置方法を表示します。
- 表示される QRコードを、インターネットに接続できる端末等で読み取ると、弊社HPに掲載の詳細の手順や動画をご参照いただけます。



弊社の酸素センサー(型式:WA-TL)は業界初の1年保証付きです。保証期限内でエラーメッセージを表示し、処置内容に従って対処しても症状が改善されない場合、酸素センサーの「故障代替品」を提供いたしますので、弊社までお問い合わせください。



DOメーター 型式:ID-160T 簡易取扱説明書

<ご注意> この取扱説明書は簡易版として作成してあります。
操作の詳細、注意事項については、製品付属の「取扱説明書」に従ってください。

<取扱・メンテナンス情報>
弊社HPに、製品の取扱方法やメンテナンス情報、動画などを掲載しています。



酸素センサーに水滴が付いていない状態で、空気飽和率が「95%以下」または「115%以上」の場合にスパン校正を行ってください。(真値とのズレが10%程度許容できる場合)

「空気飽和率」とは

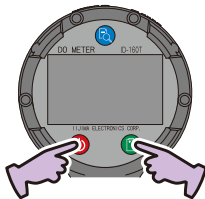
試料水の実際の溶存酸素量とその状態での酸素の飽和量との比を表します。
乾燥空気中の空気飽和率は105%前後(20℃の場合)を表示します。

1. スパン校正



- ・プローブや酸素センサーに水滴がついている場合は拭き取ってください。
- ・空調設備を稼働する前の朝一番の室内など、酸素センサーと水温センサーが十分に温度安定している状態で校正してください。

1. 電源OFFの状態、 を押しながら  を押します。

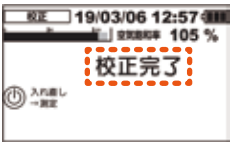


2.  (校正開始) を1秒以上長押しします。

校正を開始し、安定判断中画面になります。
(ただし、十分に安定している場合は即時、校正完了の画面になります。)



3. 「校正完了」を約1秒表示し、数値が出たらスパン校正完了です。



- ・校正値は電源をOFFにしたり電池を外しても保持されます。
- ・エラーメッセージが出た場合は、本書最終頁を参照してください。



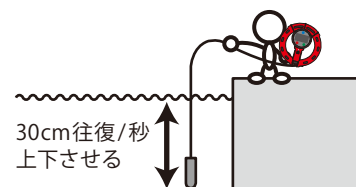
低濃度を正確に測定したい場合は、ゼロ校正を行ってください。(取扱説明書「ゼロ校正」参照)

2. 測定

1. を押して電源をONにします。

2. プローブ部を測定水に入れ、流速を与えます。

- ・水温センサーが測定水に浸かるまで沈めてください。
- ・測定水に流速がない場合は、ケーブルを持ち、プローブを水中で約30cm往復/秒の速さで上下させます。



<注意>手首のスナップを利かせずに上下してください。

3. が消灯した時点で、指示値を読み取ります。

3. 測定値の記録

測定値の記録

1. が消灯した時点で、 (記録)を押します。

2. 「記録完了」が約1秒表示され、日付時刻、DO値、水温が記録されます。



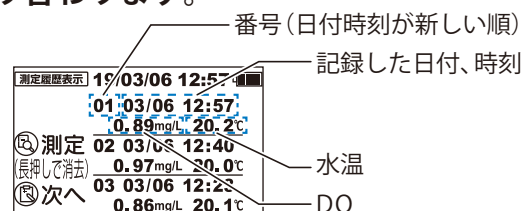
約1秒表示

測定履歴の確認

1. 電源が切れている場合は、を押して電源をONにします。

2.  (履歴)を押すと、測定履歴画面に切り替わります。

- ・日付時刻が最新のものから3件表示されています。
- ・30件まで保存されます。30件を超えた場合は古い測定値から順に消去され、新しい値が保存されます。



測定履歴の消去 (あやまって測定値を記録してしまった場合にご活用ください。)

1. 測定履歴画面で、 (長押しで消去)を2秒以上長押しします。

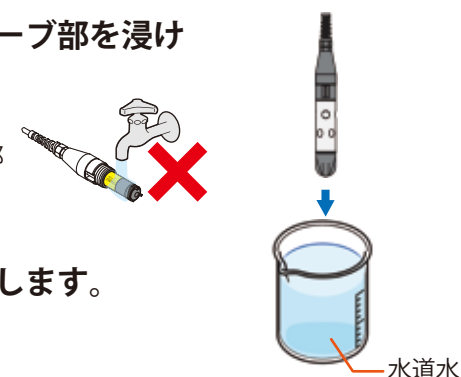
2. 「消去完了」が約1秒表示され、最新の記録が1件、内部メモリーから消去されます。

測定後は、必ずプローブおよび酸素センサーを洗浄してください。

4. 洗浄と保管

1. ビーカーなどの容器に水道水を入れ、プローブ部を浸け軽く振ります。

蛇口からの水を直接酸素センサーに当てないでください。蛇口から出る水圧は非常に高いため、酸素センサー先端部の隔膜を破損させてしまう恐れがあります。



2. 乾いたタオルなどで水気を拭き取り、保管します。

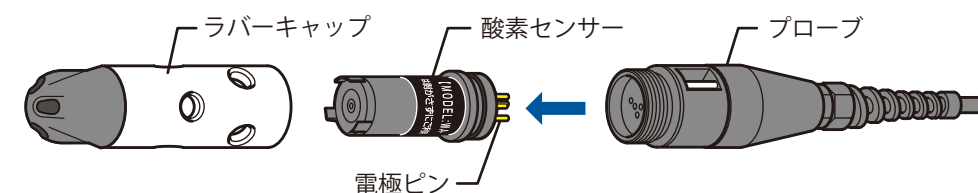
酸素センサーはプローブに取り付けたまま保管します。

酸素センサーが寿命や故障で使えなくなった時は下記手順にて交換してください。

5. 酸素センサーの交換

※酸素センサー (型式: WA-TL) を使用

1. ラバーキャップを左に回して外し、酸素センサーはまっすぐ引っ張って取り外します。



2. 新品の酸素センサーをプローブに取り付けます。

電極ピンを穴に合わせて差し込みます。

3. ラバーキャップを取り付けます。

4. 酸素センサーを交換した後は、校正を行ってください。(「1. スパン校正」参照)

6. トラブルシューティング

測定値が異常な場合や、「故障かな?」と考えられる場合は、製品付属の取扱説明書「トラブルシューティング」の頁をご参照のうえ、確認/処置を行ってください。

右のQRコードより弊社HP上でもご参照いただけます。

